安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。(例：感電注意)
⃠	してはいけない事項(禁止事項)を示します。(例：分解禁止)
●	しなければならない行為を示します。(例：プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

強制
電源ケーブルは、必ず本製品付属ものを使用してください。
付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

分解禁止
本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く
煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く
本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止
本体やケーブルの上に物を置かないでください。
故障や火災の原因となることがあります。

禁止
故障した状態(画面に何も表示されないなど)で使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。

強制
ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。

電源プラグを抜く
落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く
本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

－ － － 切り取り － － －

保　証　書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件のもとにおいて修理をいたします。
・修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
・この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

株式会社 バッファロー
本社　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通四丁目15番

お　名　前	フリガナ
ご　住　所	〒 TEL：(　　　)　　　－

製　品　名	FTD-W932HSシリーズ
シリアルNo.	製品本体に記載
保証期間	ご購入日より3年間 ただし、液晶パネル及びバックライトはご購入日より1年間となります。
ご購入日 ※販売店様記入欄	年　　月　　日 ご購入日が確認できる書類(レシートなど)を添付の上、修理をご依頼ください。

※以下は弊社内での業務連絡として使用しますのでお客様はご記入なさらないでください。

年　月　日	サ　ー　ビ　ス　内　容	担　当

切り取り

⚠ 注意

電源プラグを抜く
液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強制
小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制
電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

強制
静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

禁止
ゴムやビニール製品を長時間接触させておかないでください。
本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニールが付着してとれなくなることがあります。

液晶ディスプレイについて

警告
万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。

使用するとき

注意
シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。
液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。

強制
水分はすぐに拭き取ってください。
水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。

注意
長時間、連続してディスプレイを見続けないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。

禁止
液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。

禁止
パソコンの電源スイッチがONになったままの状態で、ディスプレイケーブルのコネクターを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクターが抜けないように、必ずコネクターのネジで固定してください。

お手入れ

禁止
液晶パネルを乾拭きしないでください。
液晶パネルが汚れたときは、柔らかい布やガーゼに無水アルコール(イソプロピルアルコール)を含ませて、軽く拭いてください。

禁止
溶剤を使用しないでください。
液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。

電源プラグを抜く
お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

注意
液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。
液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しない場合があります。

使用環境

注意
直射日光、高温・多湿に注意してください。
直射日光が当たる場所や周囲の温度が35℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。本製品表面の変色、液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。

強制
使用条件を守って使ってください。
温度(10～35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。

注意
低温に注意してください。
室温が10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。

注意
急激な温度変化に注意してください。
動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。

禁止
次の場所には設置しないでください。
感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。
・強い磁界が発生するところ……故障の原因となります。
・静電気が発生するところ……故障の原因となります。
・振動が発生するところ……けが、故障、破損の原因となります。
・不安定なところ……転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ……故障や変形の原因となります。
・漏電の危険があるところ……故障や感電の原因となります。

長期間使用しないとき

強制
直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。
長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。

画面の焼き付きを防ぐには

強制
本製品を長時間使用しない場合は、スクリーンセーバーや省電力機能などを使用するか、こまめに電源をOFFにしてください。
同じ画面を長時間表示させていると、画面表示を切り換えても残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。

R100
この冊子は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

2009年9月15日 第3版発行　発行 株式会社バッファロー

BUFFALO　35010426 ver.03　3-01　C10-015

FTD-W932HSシリーズ マニュアル　はじめにお読みください

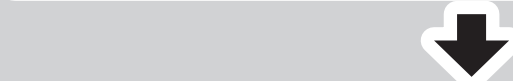
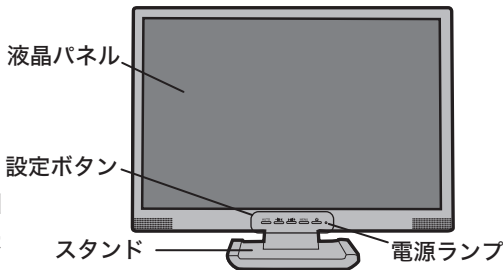
このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

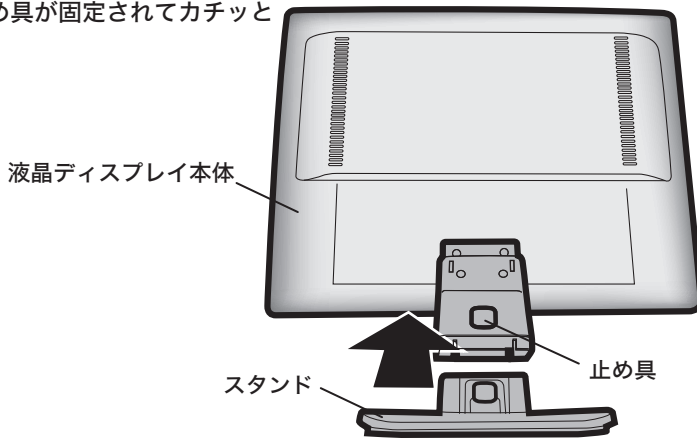
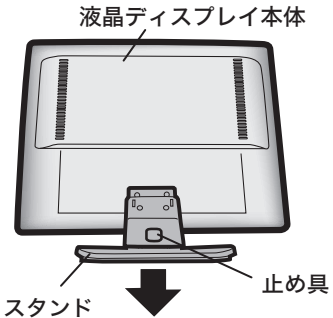
- □**液晶ディスプレイ本体……1台**
- □**スタンド……1個**
- □**D-sub15ディスプレイケーブル……1本**
- □**DVIディスプレイケーブル……1本**
- □**ケーブルカバー……1個**
- □**ACコード……1本**
- □**オーディオケーブル(φ3.5mmジャック)……1本**
- ☑**はじめにお読みください(本紙)……1枚**

液晶パネル
設定ボタン
スタンド
電源ランプ

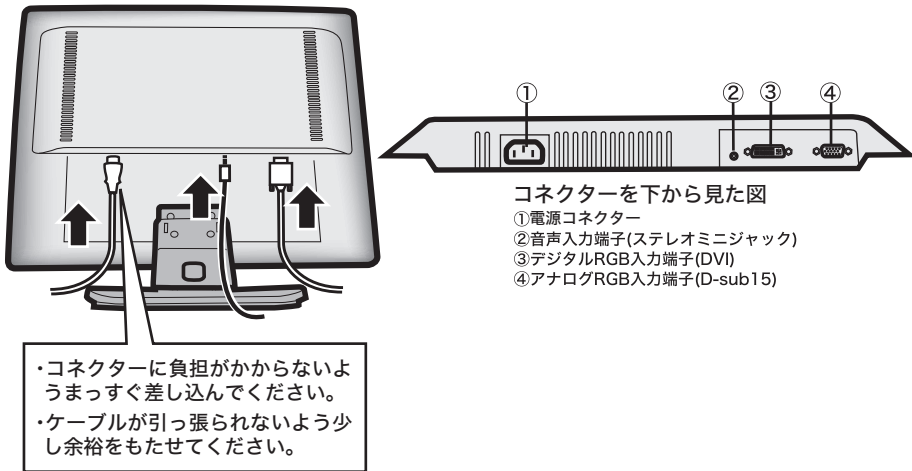
※本製品の保証書は本紙に印刷されています。修理の際は必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。
※付属のACコードは、本製品専用です。安全のため、本製品以外には使用しないでください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2 スタンドを取り付けよう

本製品は、出荷時にスタンドがはずれている状態で梱包されています。ご使用になる前に、本製品にスタンドを取り付けてください。

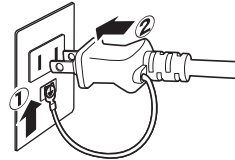
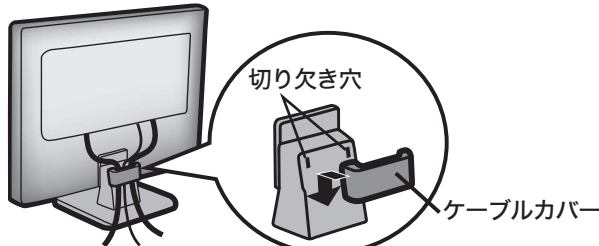
注 意
・本製品を机の上などの安定した台の上に置いて作業してください。
・液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。

下の図のように液晶ディスプレイ本体にスタンドを差し込みます(止め具が固定されてカチッと音がします)。

メ モ　スタンドの取り外し
本製品を箱に入れるときなど、スタンドを取り外す必要がある場合は、止め具を強く押し、スタンドを取り外してください。
・本製品を机などの安定した台の上に置いて作業してください。
・液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。
・スタンドの取り外しは、必要な場合(購入時の箱に入れて輸送する場合など)のみ行ってください。

右上へつづく
ステップ3 パソコンに取り付けよう

注 意
●作業を行う前にパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。
●ACコードやディスプレイケーブル等各ケーブルの取り扱いによって、製品の内部で断線や接触不良が発生し、製品が故障する場合がありますので取り扱いに注意してください。
　・各ケーブル類は、本製品の角度調整などの際、引っ張られる場合がありますので、設置には少し余裕をもたせておいてください。
　・各ケーブル類を抜き差しする場合は、無理に曲げたり、引っ張ったりせず、製品やコネクター部分に負担がかからないようにまっすぐに行ってください。
●別売のアームスタンド取り付け時にも、各ケーブル類を無理に曲げたりなどせず、コネクター部分に負担がかからないようにしてください。

ケーブル類をディスプレイに取り付けます。

・コネクターに負担がかからないようまっすぐ差し込んでください。
・ケーブルが引っ張られないよう少し余裕をもたせてください。

1. 付属のオーディオケーブルを本製品とパソコンに接続します。
2. 付属のディスプレイケーブル(D-sub15またはDVI)でパソコンと本製品を接続します。
　※パソコンのコネクターがD-sub15ピン/DVIでないときは、市販の変換コネクターを別途用意してください。
　※端子の向きを確かめて、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のねじで固定します。
　※本製品のOSDメニューでD-sub(アナログ)とDVI(デジタル)の入力信号を切り替えることができます。そのため、パソコンが2台ある場合は、D-subとDVI端子にそれぞれのパソコンに接続し、必要に応じて切り替えて使用することができます。
3. 付属のACコードを本製品に接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

注 意
感電防止および電磁界輻射低減のため、ACコードに付いているアース線は必ず接地してください。
アース線は電源プラグをつなぐ前に接地し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう注意してください。故障の原因となります。

メ モ
●図のように付属のケーブルカバーを切り欠き穴にはめ込み、ケーブルを束ねることもできます。

●電源ONのとき本製品の電源ランプが緑色に点灯します。
次の状態のときは、電源ランプがオレンジ色に点灯します。画像は表示されません。
・パソコンから画像信号が入力されていないとき
・本製品が対応していない画像信号が入力されているとき
・サスペンドモードになっているとき
サスペンドモードは、キーを押したりマウスを動かすことで解除できます。

前面にある⏻ボタンを押し、本製品の電源をONにしてからパソコンの電源スイッチをONにします。
以上で接続は完了です。

次ページへつづく

設定ボタンについて

液晶ディスプレイ前面の設定ボタンには次のような機能が割り当てられています。

シンボル	機能
AUTO	・OSDメニュー画面を閉じます。 ・OSDサブメニューからメインメニューへ戻ります。 ・OSDメニューが開いていないとき、自動調整を実行します(デジタルRGB入力端子(DVI)にディスプレイを接続したときは実行できません)。
-<	・OSDメニュー画面でカーソルを上方向に移動します。 ・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値下降)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、音量の調整メニューが開きます。
>+	・OSDメニュー画面でカーソルを下方向に移動します。 ・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値上昇)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、音量の調整メニューが開きます。
MENU	・OSDメニューを開きます。 ・OSDサブメニューを開きます。 ・選択した項目を決定します。
⏻	電源のON/OFFを行います。

※詳細な設定ができるOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューについて詳しくは、画面で見るマニュアルを参照してください。

画面で見るマニュアルの読み方 「液晶ディスプレイユーザーズマニュアル」

画面で見るマニュアル「液晶ディスプレイユーザーズマニュアル」は、弊社ホームページ(buffalo.jp)にて公開しております。画面で見るマニュアルでは、OSDの操作方法やトラブルシューティングなど、本紙に記載されていない情報が記載されています。本紙とあわせて必ずお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
ラジオやテレビジョン受信機(以下、テレビ)などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

本製品の規格に関して
弊社は、国際エネルギースタープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

画面の調整について

液晶ディスプレイ前面の設定ボタンでOSDを表示し、下記の項目の画面の調整を行うことができます。

※OSD機能について
OSDとはオンスクリーン ディスプレイの略称です。ディスプレイ表示に関する設定項目の選択やその調整の度合いを、実際にディスプレイ上に表示させて確認しながら調整するための機能です。画面の表示サイズや表示位置、明るさ、コントラストなどを設定できます。

※OSDの操作について詳しくは、画面で見るマニュアルを参照してください。

OSDメニューでは、次の設定をすることができます。

項目	内容	設定範囲
明るさ	コントラスト、輝度などを調整します。	
コントラスト	画面の濃淡を調整します。	0～100
輝度	画面の明るさを調整します。	0～100
表示モード	表示モードを標準、文字(*1)、インターネット(*1)、ゲーム(*1)、映画(*1)、ECO(*1)から選択します。	標準/文字/インターネット/ゲーム/映画/ECO
ガンマ	ガンマの設定します。	ガンマ1/ガンマ2/ガンマ3
DCR	ダイナミックコントラスト機能の設定します(*2)。	On/Off
画面調整	クロック、フェーズ、位置を調整します(*3)。	
クロック	画面に縦の縞模様(モアレ)が出る場合に調整します。	0～100
フェーズ	画面にノイズが出る場合や、文字などの輪郭がぼやける場合に調整します。	0～100
水平位置	画面の位置を調整します。	0～100
垂直位置		
色温度	色温度、RGBの調整をします(*4)。	
色温度	画像の白色部分が赤味を帯びていたり、青味を帯びているときに調整します。印刷時やフォトレタッチ時など用途にあわせて調整してください。	USER/6500K/7300K/9300K sRGB
赤	赤色の濃淡を調整します。	0～100(*5)
緑	緑色の濃淡を調整します。	
青	青色の濃淡を調整します。	
OSD設定	OSD設定メニューの位置、表示時間、言語を設定します。	
OSD水平位置	OSD設定メニューの表示位置を調整します。	0～100
OSD垂直位置		
OSDタイムアウト	OSD設定メニューの表示時間を調整します。	5～100
OSD言語	OSD設定メニューの表示言語を選択します。	日本語/English
その他	その他の設定をします。	
画面サイズ	画面全体に拡大する「フル」と縦横比率を変えずに拡大する「アスペクト比固定」を設定できます。	フル/アスペクト比固定
入力切替	入力信号を切り替えます。	アナログ/デジタル
自動調整	画面のノイズ、クロック、画面位置を自動調整します(*6)。	Yes/No
DDC/CI	DDC/CIの有効/無効を選択します。	Yes/No
リセット	OSD設定を出荷時設定に戻します。	Yes/No
Information	現在の設定の情報を表示します。	—

*1 これらの表示モードでは、輝度、コントラストの変更はできません。
*2 DCRをOnにすると、コントラスト、輝度、ガンマの変更はできません。表示モードは「標準」に戻ります。色温度は、6500Kに固定されます。
*3 アナログRGB入力端子(D-sub15)で接続したときに、自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で設定してください。設定値は、使用する解像度や、ディスプレイの周波数、パネルによって異なります。
デジタルRGB入力端子(DVI)に接続したときは、本項目は調整できません。
*4 色温度を設定すると、DCRはOffとなり、表示モードは「標準」に戻ります。
*5 「色温度」の設定値を「USER」にした場合に有効になります。
*6 デジタルRGB入力端子(DVI)に接続したときは、本項目は実行できません。

■ECOモードの設定

OSD メニューから [明るさ]-[表示モード]-[ECO] を選択すれば、 消費電力を抑えECO モードに設定することができます。

■OSDロックの設定

誤って OSD ボタンを操作しても機能しないように、 OSD メニュー画面にロックをかけることができます。

ロック手順　本体の電源が OFF の状態で、 MENU ボタンを押しながら ⏻ ボタンを押して電源を ON にします。MENU ボタンは OSDの画面が表示されるまで押し続けてください。OSDの画面が表示されたら MENU ボタンから手をはなします。

ロック解除手順　上記と同じ手順でロックの解除を行うことができます。

※ OSD ロックを設定した状態でも、 以下の操作は行うことができます。
・-<または>+ ボタンを押して音量調整をする。
・AUTO ボタンで自動調整を実行する。

■自動調整のしかた

初めて本製品をパソコンに接続したときなど、自動的に最適な表示が得られるよう調整を行いたいときは、次のように行ってください。

※MS-DOSプロンプトなど黒色部分が多い画面やアプリケーション画面などを表示した状態で自動調節を行っても、十分な効果が得られないことがあります。Windows(3.1を除く)をご使用の方は、LCDADJ.EXEを実行し、画面調整用の画像を表示させてから自動調整を行うことをおすすめします。Windows3.1を使用している方は、1ドットずつの白黒市松模様など調整に適した画像を作成し、表示されることをおすすめします。

1.周辺機器（本製品を含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。
2.弊社ホームページ(buffalo.jp)のダウンロードサービスからLCD Utility Diskをダウンロードし、解凍したファイルからLCDADJ.EXEをダブルクリックしてください。
画像（画面いっぱいにグレーの色が表示されたように見えます）が表示されます。
3.AUTOボタンを押します。
自動調整が行われます。

※Macintoshの場合はOSが起動し、画面表示が静止したらAUTOボタンを押してください。
※調整には数秒かかります。その間は設定メニューの操作はできません。自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で調整してください。

右上へつづく

困ったときは

■画面に何も表示されない、画面の正常に表示されない

本紙「製品仕様」対応表示モードの解像度や垂直周波数(リフレッシュレート)以外の設定では正しく表示されないことがあります。そのようなときは、次の手順で設定を変更してください。

1.パソコンの電源スイッチをONにし、Windowsロゴが表示される前に、キーボードの[F8]キーを何回か押します(キーを押したままにしないでください)。
2.Windows Vistaをお使いの方は、[低解像度ビデオ(640×480)を有効にする]を選択し、[Enter]を押します。Windows XP/2000をお使いの方は、[VGAモードを有効にする]を選択し、[Enter]キーを押します。
3.デスクトップ画面を右クリックし、[プロパティ](Windows Vistaでは[個人設定])をクリックします。[画面のプロパティ]が起動します。
4.[設定]をクリックします(Windows Vistaでは[画面の設定]を選択)。
5.本紙「製品仕様」対応表示モードにある解像度を設定します。
6.[適用]→[OK]をクリックします。
7.Windosを再起動します。

■画面がにじむ、または画面がちらつく

液晶ディスプレイ前面の[AUTO]ボタンを押して自動調整を行ってください。
自動調整でも改善しないときは、次の手順をお試しください。
・Windows Vistaをお使いの方は、[個人設定]→[画面の設定]→[詳細設定]→[モニタ]→[画面のリフレッシュレート]で垂直周波数(リフレッシュレート)を60Hzまたは75Hzにしてください。
Windows XP/2000をお使いの方は、[画面のプロパティ]→[設定]→[詳細設定]→[モニタ]→[画面のリフレッシュレート]で垂直周波数(リフレッシュレート)を60Hzまたは75Hzにしてください。

■画面がぼける、画面が縦長に表示される

設定されている解像度が本製品に適していない可能性があります。パソコンの解像度を本製品の最大解像度に設定してください(本紙「製品仕様」参照)。

■液晶ディスプレイ内蔵スピーカーから音が出ない

・液晶ディスプレイとパソコンがオーディオケーブルで接続されているかご確認ください。
・液晶ディスプレイ前面のボタンで音量を調整してください。それでも音が出ないときは、パソコン本体側の音量を上げてください。
・パソコン側の設定で消音(ミュート)にしていないかご確認ください。

製品仕様

		FTD-W932HSシリーズ
パネル		19型Wideカラー TFT液晶
最大解像度		WXGA+サイズ（1440×900ドット）
最大色数		1677万色(擬似フルカラー)
平均輝度		380cd/m²
平均コントラスト比		1000：1
平均視野角度		上下160°左右170°
入力信号	VGA	アナログRGB(0.7Vp-p/75Ω) デジタルRGB DVI準拠(HDCP対応) セパレート同期信号(TTL)
	音声	1.0[Vrms]
端子	信号入力	D-sub 15ピンコネクター(ミニ)、DVI-D24ピンコネクター (HDCP 対応)
	音声入力	φ3.5mmステレオミニジャック
DDC		DDC 2B
電源		100V AC±10% 50/60Hz
最大消費電力		42W（オフモード時：1W以下）
スピーカー		アクティブスピーカー内蔵 1.0W×2
外形寸法 / 重量		438(W)×363(H)×210(D) mm / 4.4kg(スタンドあり)
VESAマウントインターフェース		VESA100mm
動作環境		温度：10～35℃、湿度：結露無きこと

※HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)とは、デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。
※D-sub15ピン(3列)アナログRGBコネクター、DVI-D24ピンデジタルRGBコネクターを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクターを別途用意してください。
※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

J-Moss グリーンマーク

対応表示モード

ビデオ信号	解像度	ﾄﾞｯﾄｸﾛｯｸ(MHz)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VGA	640×480	25.2	31.5	60
		31.5	37.9	72
		31.5	37.5	75
SVGA	800×600	36.0	35.2	56
		40.0	37.9	60
		50.0	48.1	72
		49.5	46.9	75
XGA	1024×768	65.0	48.4	60
		75.0	56.5	70
		78.4	57.7	72
		78.8	60.0	75
	1152×864	108.0	67.5	75
WXGA	1280×768	79.5	47.8	60
		102.3	60.3	75
	1360×768	85.5	47.7	60
WXGA+	1440×900	106.5	55.9	60
IBM MODES DOS	720×400	28.3	31.5	70
	640×350	25.2	31.5	70
	640×400	25.2	31.5	70
MAC MODES VGA	640×480	30.2	35.0	67
MAC MODES SVGA	832×624	57.3	49.7	75
MAC MODES XGA	1152×870	100.0	68.7	75
	1024×768	80.0	60.2	75

※1440×900ドット/60Hzでの使用をおすすめします。
※上記以外の信号でも表示できることがあります。
※上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。
※MacintoshではD-sub15ピン(ミニ)コネクターまたはDVI-D24ピンコネクターを搭載している必要があります。

＊弊社では、本製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造終了後5年間保有しています(弊社品質基準に適合した相当部品を含む)。保有期間が過ぎても故障箇所によっては修理可能なことがあります。詳しくはバッファローサポートセンターまでご相談ください。

使用済み液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて
2003年10月1日施行の「資源有効利用促進法」に基づき、弊社ではご家庭で不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・再資源化を実施しております。
詳しくは、弊社サポート＆サービスホームページ **86886.jp** をご参照ください。

切り取り

保 証 契 約 約 款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条(定義)
1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条(無償保証)
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアルNo.等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアルNo.等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類(レシートなど)が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条(修理)
この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
1 製品の故障が疑われる場合、各製品添付のマニュアルに記載の弊社サポートセンターへご連絡いただくか、同記載の修理ホームページにて修理をお申込ください。その際、弊社から製品の送付先をご案内いたします。ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。また、送料は送付元負担とさせていただきます。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記憶装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内容により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破損、消失などにつき、一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条(免責事項)
1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条(有効範囲)
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

切り取り